

平成29年度 第2回 大洲市総合教育会議 会議録

1 開催した日時及び場所

平成29年12月25日（月）午後3時55分から午後5時07分まで
大洲市役所別館3階第1会議室

2 出席した構成員

大洲市長		清水	裕
大洲市教育委員会 教育長		二宮	隆久
大洲市教育委員会 教育長職務代理者		東山	宏
大洲市教育委員会 委員		西山	千春
大洲市教育委員会 委員		山内	光郎
大洲市教育委員会 委員		渡邊	ひとみ

3 会議に出席した職員

（教育委員会事務局）

（市長部局）

教育部長	井上	徹	市民福祉部長	藤田	修
教育総務課長	久保	明敬	子育て支援課長	山下	和広
教育総務課学校教育指導監	菊池	敏彦	（事務局）		
生涯学習課長	松本	隆寿	総合政策部長	森田	比登志
文化スポーツ課長	森野	啓二	企画政策課長	山尾	淳志
学校給食センター所長	新穂	哲徳	企画政策課長補佐	井上	朋昭
教育総務課長補佐	隅田	充			

4 傍聴者の数

2人

5 協議又は調整に係る事項

- (1) 大洲市教育大綱の見直しについて
- (2) 平成30年度重点事業について
- (3) 認定こども園の取組みについて
- (4) 小中一貫教育の取組みについて
- (5) その他

6 議事

別紙のとおり

	1 開会
	2 市長あいさつ
清水市長	<p>3 議事</p> <p>(1) 大洲市教育大綱の見直しについて</p> <p>それでは、私のほうで進めさせていただきますので、ご協力方よろしくをお願いいたします。</p> <p>お手元に配布しております資料の議事次第に則りまして進めさせていただきます。</p> <p>まず、議題(1)の大洲市教育大綱の見直しについて、を議題とさせていただきます。事務局から説明をお願いします。</p> <p>〔会議資料に基づき説明 山尾課長〕</p>
清水市長	<p>ありがとうございます。また、ご意見等を伺う時間等ある訳でございますが、今、説明を受けた段階で特に気になったこと、もしくは、疑問点等あれば、本日お伺いしたいと思っております。何か、ご意見、ご質問等ございませんでしょうか。</p>
清水市長	<p>前から気になっていたのですが、キャリア教育というのは普通に使うのですか。</p>
菊池指導監	<p>キャリア教育という言葉は、現在、学校教育現場では、キャリア教育という言葉を中心に使っております。その中に、職場体験なども含んでおります。</p>
清水市長	<p>このキャリア教育という言葉は、日本語にするとどういう定義なのですか。</p>
菊池指導監	<p>キャリア教育の説明の正式なものがあつたのですが、申し訳ございませんが、今、手元に資料がございません。</p>
清水市長	<p>ちょっと気になったのが、普通、国家公務員でもキャリアとノンキャリアという言い方をする訳ですが、昔は上級職とか、中級とかあつて、キャリアというのは、あまり耳障りに良い言葉ではなくて、キャリア教育というのは、エリート教育に近いような雰囲気があるのか、ないのか、よくわからないのですが、普通、皆さんが捉えたときに、どういう捉え方をされるのかというのが、ちょっと気になるのですが。</p>

菊池指導監	<p>基本的には、将来、子供たちが、職業に就くためにいろいろな様々な勉強をする訳なのですけれども、それをすべて含めたような形になっております。</p>
清水市長	<p>社会学習という意味ですか。社会学習とか、社会的なそういう、社会人となるときに様々なノウハウを教育しますということが、キャリア教育なのですね。</p>
菊池指導監	<p>そうです。小学生からキャリア教育は始まっておりまして、例えば、町並み探検などを通して、いろいろな町の中にあるお店とか、仕事がある、そういうことから始まって、最終的には、中学校3年生までに職場体験などを通して、実際に自分が体験をして、将来の自分たちの仕事に向けての意識を高めるというふうなことになっております。</p>
清水市長	<p>そのように、普通、皆さんは捉えられるのでしょうか。</p>
東山委員	<p>教員としては、そういうふうに全員が捉えています。エリート教育とかではなくて、将来の職業選択のためにいろいろ学習を重ねていってということだと思いますけど。</p>
西山委員	<p>保護者もそれほど違和感はなくて。</p>
清水市長	<p>違和感がなければ良いです。キャリアにあまり良いイメージを持っていないので、キャリアという言い方は、どうかと思っただけです。一般の方が問題ないのならそれで別に結構です。</p> <p>ほかに何かございませんでしょうか。</p>
東山委員	<p>ひとつ良いですか。意見とかそういったものではないのですが、3ページの一番下、(3)、個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進とありますが、この個性という捉え方が結構幅広くて、難しいなといつも考えるのですけれども、前に河合隼雄さんというもう亡くなった方が、書かれていたので、ひとつこれは大事なことだと思ったことは、その人がやった自分の言動に責任を持てると、それが基本にあって個性であって、それができない人には、個性でなくて自分勝手であると、というような書き方をされていたので、そのあたりをきっちり人間としての基本的なことを押さえたうえでこれを伸ばすと、いうふうに考えている人は意外と少ないかもしれないと考えたりしました。</p>

<p>清水市長</p> <p>東山委員</p> <p>清水市長</p>	<p>だから、個性、個性と言いますが、その人の良さではあるのだけれど、周りに迷惑をかけるようなことでは、全然だめなこと、解釈の仕方がいろいろあるのしょうけれども、良い考え方だと思いましたので、道徳教育の充実とか言いますが、最近、権利、権利、権利、権利で責任とか、義務とかいう言葉が消えてしまって、そのところを押さえてからの、可能性を伸ばす教育が大事なかと、勝手に考えておりました。以上です。</p> <p>ありがとうございます。特に文面でそういう雰囲気に分ればという、個性は伸ばすものの、多分、個性というそれぞれの特質とともに、自分たちが行う行動に対する責任感だとか、そういうものと一緒になっていれば良いということだと思います。</p> <p>そうですね。そういう表現で分かりやすければなお良いと思います。</p> <p>ということですので、また、文案等を考えてください。難しいかもしれませんが。</p> <p>ほかに何か。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、また、先ほど説明にもありましたように、もう一度また見ていただいて、特に気になったところ等あれば、教育委員会のほうに意見をいただくようにして、1月末までに意見をいただいて、それで修正案を作って、また、確認をいただくという形で進めさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでよろしいでしょうか。</p> <p>〔委員から「はい」との発言あり〕</p>
<p>清水市長</p> <p>清水市長</p>	<p>(2) 平成30年度重点事業について</p> <p>それでは、引き続きまして、議題の(2)の平成30年度重点事業について、をお願いいたします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p> <p>〔会議資料に基づき説明 山下課長・久保課長・松本課長・森野課長〕</p> <p>ただ今、それぞれの部、課から説明がございました。何かご質問、ご意見があればお受けしたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>平成30年度はこういうことを中心にやっていきたいということでございます。</p>

山内委員	<p>教育委員会から出ている、教育総務課の学校施設の設備の充実ですが、エアコン導入についてなのですが、大洲市は、河辺から長浜まで地理的条件、気温差もあろうかと思うのですが、大洲小学校だったのでしょうか、36℃を超えるというようなところで、やっぱり、最近、家庭の環境でもすべてエアコンは、配置されていると思うので、そういった中で勉強させてあげられれば良いのではないかということで、このことは、特にやっていただきたいなと考えています。</p> <p>また、内子町あたりも導入を決定されているみたいですし、やはり大洲は、大洲盆地、特に夏暑いので、どうか設置をしていただければと思います。以上です。</p>
清水市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>できるだけ早く設置をして欲しいというご意見でした。</p>
久保課長	<p>今年度、学校の室温調査とそれから、学習状況等のアンケート調査をさせていただきました。</p> <p>まず、大洲市の気温として気象庁のデータがある訳でございますが、前回議論した平成24年度と今年度比較いたしまして、平均気温で大洲市は2.1℃高くなっています。それから、真夏日、いわゆる30℃以上の日が平成24年度は、12日、今年度は15日ですので、3日間増えております。それで、35℃以上の猛暑日については、平成24年度は、なし、平成29年度は2日あったということで、これは、7月1日から20日までの間だけを取らせていただいておりますので、これで言うとな今のような、気温自体も暑くなっているというふうな状況がございます。</p> <p>それから、今年度実施しました室温調査の結果でございますが、まだ、細かいところまでは整理していないのですが、やはり、小中学校全体で、平均室温は上昇しております。最高室温も同じく上昇しているというふうな結果になっております。その中で比較的最低室温や平均室温が高くないのが、長浜小学校と河辺小学校というふうな結果になっております。</p> <p>次に、家庭での学習環境の調査をさせていただきましたが、まず、家でどのくらい勉強しているのかについての質問から入っております。小学校では、30分から1時間が一番多くて56%、1時間以上勉強している児童が、30%ございます。中学校では、1時間から2時間が約50%、2時間以上が34%程度、家で勉強をしているというふうな回答をいただいております。</p> <p>その次に、夏の暑い日に家でどのように勉強していますかというふう</p>

な設問に対しまして、小学校では、エアコンを利用しているという家庭が、67%ございました。中学校では、それが73%というふうになっております。このような状況で夏場暑いときには、家庭でエアコンを使用しているというのが、概ね7割程度でございます。

それから、次に6月から9月にかけて、学校の教室の暑さはどうですかという問いをしたのですが、小学校では、我慢できないくらい暑いという回答が、30%、暑いが我慢できるが約50%、何とも思わないというが、20%ございます。という結果になっております。それが中学校になりますと、我慢できないくらい暑いが、45%、暑いが我慢できるが、50%、何とも思わないが、4%程度ということで、やはり、そういうふうな結果になっておりますので、ここらを総合的に検討させていただきまして、当然、一度にはできないと思いますので、方向性を決めていただいた後、年次計画なり策定して、また、事業費もはじかなければなりませんので、ここらを参考にして、計画を積み上げていきたいというふうに思っております。以上でございます。

清水市長

何か今の件でございますか。

何れにしろ、必要だということを割り切ってしまうと、あとはその必要性の高いというか、調査して非常に気温の高くなるころから、まずは付けていくことを考えたほうが良いのではないのでしょうか。基本計画を全部立てて、どことどこはやって、どこはやりませんかとかそういう議論よりも、とりあえず、今は、非常に気温が高くなっているところがあるので、そういうところについては、順次やっていくと、少なくとも、たぶん今言われているグレーゾーンに近いところが、河辺と長浜かもしれません。夏はあまり気温が上がらないということで、議論を詰めていったほうが早いのではないかなと思いますので、そういう議論をやりながら、平成31年度からでも、具体的にどんどん付けていけるように、ぜひ考えてもらえればと思います。

西山委員

はい。ちょうど教育大綱の基本目標3の(3)の安全安心の教育環境の構築とありまして、赤い字で快適に学べる教育環境とありますし、やはり、それを構築しますとここに掲げてありますので、学校のほうに伺う機会があったときに、子供さん、ものすごく汗をかいて、中学生になると午後は寝ている子も結構いるのではないかと思うような環境なので、ぜひよろしくをお願いします。

清水市長

ということなので、急いでやってください。ぜひお願いしたいと思います。あと、こういうふうなことをしていくと、夏休み自体をどのよう

	<p>な形でできるのか、逆に今は暑すぎて、夏休みをこれ以上ということは難しいけれども、教育環境の中で夏休みがクーラー等である程度快適に学校で勉強できるようになると、あれだけ長期間を取るの正しいのか、それとも秋だとかそういうところを少し取ってあげるのが良いのかだとか、様々な議論ができると思うのですが、少なくとも今のままではその議論にもなかなか立ち入れないので、そういう意味も含めて、教育環境を早く整備してあげたほうが、良いのではないかというふうに私は思います。</p> <p>子供は各家でも当たり前のようにクーラーがある訳なので、ぜひそういうことは考えてあげてください。</p> <p>それでは、よろしければ次の議題に移らせていただきます。</p>
<p>清水市長</p> <p>清水市長</p> <p>東山委員</p> <p>山下課長</p>	<p>(3) 認定こども園の取組みについて</p> <p>それでは議題の(3)の認定こども園の取組みについて、を議題とさせていただきます。それでは、説明をお願いします。</p> <p>〔会議資料に基づき説明 山下課長・久保課長〕</p> <p>はい、ありがとうございました。それでは、ただ今説明がありました認定こども園の取組みについて、市長部局と教育委員会それぞれから説明があった訳ではありますが、これにつきまして、何かご意見、ご質問があればお願いしたいと思います。</p> <p>一つお聞きします。保育士の確保が難しいと書いてあったと思うのですが、県内の小中学校でも今年度当初から、講師が足りない状況だそうです。そういうような異常な状況になっているのですが、保育士が足りない理由というのは、もう有資格者が少ないのか、それとも、保育士の条件が悪いからほかの仕事についているのか、そのあたりの状況はわかりますか。</p> <p>保育士の数自体は、はっきりは分かりませんが、テレビや新聞でも保育士不足ということで、保育士の勤務環境が悪いというようなこともあって、潜在保育士、一度保育士をされていて、今やめられている方が復職するときに、給料が低いとか、勤務が厳しい等の不安を抱いて、保育士に復職するという方が、なかなか少ないというところです。現在も、募集を行っていますが、応募は本当に少ない状況です。</p> <p>また、今年から、みなし保育士ということで、幼稚園教諭や看護師などの資格を持っておられる方をあわせて募集しているのですが、こちら</p>

<p>清水市長</p>	<p>も応募は全然ない状況です。</p> <p>私自身の認識では、保育士の絶対数が足りないということではなく、1月から3月ごろまで、それぞれの保育所で、どれだけの子どもたちが保育所に入りたいかという調査をして、それに応じて保育士を配置する。それは、少なくともここ数年は、間に合っている。ただ、やはり、出産の関係だとか、産休と育休の関係だとか、そういう年度途中でどうしても入りたいといったときに、それが十分入れられるだけの余裕があるのかというと、それについては、厳しくて、そして、待機されている方が出ているということです。</p> <p>保育士が、全然足りていなくて、はじめからということではないのですが、ただやはり、働き方だとか、そういうものからみると、そんなにちゃんと年度に合わせて、子供を育てる需要が出るかという話ではないので、そのあたりを何とか適切に動かせるように、それから、認定こども園にいたしますと、幼稚園教諭の方と一緒にになるので、一緒になったらもう少し動かしやすくなるのかなと、そんなことも思ったりして、できるだけ早く認定こども園についてもやっていきたいということで、もちろん計画も立てるのですが、ぜひ、モデル的なところを早く進めて、そこでいろいろな検証をしたりして、やれるところから、その0歳からが厳しければ3歳からでも、やれるところからやって、スタートして、それが徐々に拡充できれば、それはそれで良いのかなと思いますし、そんな方向でやるように市長部局と教育委員会のほうでも一緒にして、やっていただければ、やはり、幼稚園教諭の方と保育士の方の意識の差とかもそのようなものもあるようなので、そういうものもできるだけ一緒にして、子供の成長を見守ってやっていくというのは同じ立場だと思いますから、それもできるだけ無くして、やればなというふうに思っています。</p> <p>何かほかに。</p>
<p>西山委員</p>	<p>喜多幼稚園と大洲幼稚園の公開保育というのが、予定されていたけど台風で伺えなかったのですが、3歳児保育というのは、満3歳になった時点で入園される訳ですかね。その何月かに誕生日が来たら入れるというものかと思いますが、ここの園児の人数ではわからないので、3歳児の子というのは今どのくらい入っておられるのですか。</p>
<p>久保課長</p>	<p>今年の年度当初では、16人です。</p>
<p>西山委員</p>	<p>予定では。</p>

久保課長	予定では30人の募集です。
西山委員	それは3歳児なられる。
久保課長	3歳児になってからの。国のほうの動きというのが2歳児まで、2歳児から幼稚園という動きがあるようなのですが、それは、3歳になる年に入ってくる。
西山委員	なる年に4月から入れるのですか。
久保課長	はい、国のほうが今検討されているところです。ただ、すぐには、受け入れのほうが無理かもしれません。これも最終的には、結論は出ていない、途中、途中で情報を仕入れているところです。
清水市長	今の話に関連してなのですが、要するに3歳児保育の定義というのは、その子供が何月時点で3歳になったから受け入れられるということなのですか。
久保課長	4月1日です。4月1日で3歳になっておれば。
清水市長	途中で3歳になったところでそれは受け入れないということなのですね。
二宮教育長	3歳になった子供を。
清水市長	3歳になった子供を新年度から受け入れる。
西山委員	勘違いしておりました。3年保育の分ですよね。大洲市ではないのですが、その下のクラスで、3歳になった誕生日が来ると入ってくるというところがあるのです。3歳児でなくて2歳で、3歳になったら4月生まれの子供は4月から、5月の子供は5月から、12月生まれの子供は12月から入れる、そういう施設も聞いたことがあるので。
清水市長	よろしいですか。大洲市の場合には、3歳になってからということですね。 ほかに何か。 できるだけ早く、これも進めていかななくてはいけない課題とってお

	ります。
清水市長	<p>(4) 小中一貫教育の取組みについて</p> <p>それでは、最後に小中一貫教育の取組みについて、を議題とさせていただきます。それでは、説明をお願いします。</p> <p>〔会議資料に基づき説明 菊池学校教育指導監〕</p>
清水市長	<p>ただ今、平野で実施しております、小中一貫校の取組みについて説明がございました。何か今のことについてご質問だとかご意見はございませんか。</p> <p>比較的無理なくできているのかなという感じはしていますけど、できるだけ、特に中学生になれば、小さな子供の面倒は見られるので、そういうことをきっちり教えてあげると、なかなか、今、家庭でたくさんの子供がいるところが減ってきて、小さな子供の面倒をあんまり見ない子供さんも多いので、できるだけそんなこともやってもらうと、非常にそれは将来に役に立つのではないかなと思いますので、ぜひそんなことも考えていただければなと思います。</p> <p>何か今の件でございませんでしょうか。</p>
東山委員	<p>教員の生の声が聞けたら。</p>
清水市長	<p>フィルターを通さずに。大部苦勞しているみたいです。校長が先頭に立ってということなので、新しいことをやる違和感はどこかで出るでしょうね。</p>
二宮教育長	<p>構いませんか。大切なことだと思いますので、記名では無しに、無記名等で、先生方の感想ももらったうえで、実証の成果の一つの課題にする必要があるのかなと思っております。平野の事例を参考にして、できれば、中学校区単位で広げていきたいという考えもございますので、今のご意見を取り扱いと思います。</p>
清水市長	<p>実証実験ですが、やっぱり基本的にはどんどん広げていけるほうが良いと思ひまして、もともと、6、3、3制というか、そういう無理やり枠にはめ込んだこともまた、時代とともに変わっていけるなら、変わっていけば良いのではないかなと思います。</p> <p>何か答えはございますか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>

	<p>それでは、一応4つの議題それぞれ終了をさせていただきます。</p> <p>〔意見なし〕</p>
清水市長	<p>(5) その他</p> <p>それでは、(5)で、その他ということがございます。何でも結構ですので、教育に関わるようなことで何かご意見があればお受けしたいと思えます。</p> <p>〔意見なし〕</p>
清水市長	<p>それでは、一応ご意見も全部出揃ったようでございます。</p> <p>以上をもちまして、本日の議事を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
	4 教育長あいさつ
	5 閉会